

**少子化に対する市民意識調査
調査票**

1 全員の方にお聞きします。

※問1～問2はあてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

【問1】 あなたの性別をお答えください。

男性 ・ 女性

【問2】 あなたの年代をお答えください。

20歳代 ・ 30歳代 ・ 40歳代

【問3】 あなたのお住まいはどちらですか。あてはまる番号を1つ選び○印をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| 1. 南割、中割、北割2区、北割1区、福岡区 | 3. 市場割区、上赤須区、下平区 |
| 2. 小町屋区、町1区、町2区、町3区、
町4区、上穂町区 | 4. 中沢区 |
| | 5. 東伊那区 |

【問4】 あなたは現在結婚されていますか。あてはまる番号を1つ選び○印をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 結婚している | 3. 結婚したが死別した |
| 2. 結婚したが離別した | 4. 結婚したことはない |

【問5】 結婚相手と知り合ったきっかけについてお聞きします。あてはまる番号を1つ選び○印をつけてください。結婚したことがない方は、知り合うきっかけとして期待するものの番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 学校で | 7. 結婚相談所 |
| 2. 同じ仕事や職場で | 8. 婚活サイト |
| 3. 幼なじみ・隣人 | 9. 街中や旅先 |
| 4. 学校以外のサークル活動や習い事で | 10. 婚活イベント・パーティー |
| 5. 友人や兄弟姉妹の紹介 | 11. その他 |
| 6. お見合い（親せき・上司の紹介も含む） | （ ） |

【問6】 一緒に暮らしている人は、あなたを含めて何人ですか。

人

【問7】 一緒に暮らしている人がいる方にお聞きします。あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|---------|------------|
| 1. 配偶者 | 5. 配偶者の父 |
| 2. 子ども | 6. 配偶者の母 |
| 3. 自分の父 | 7. 自分の兄弟姉妹 |
| 4. 自分の母 | 8. その他（ ） |

【問 8】 あなたの職業についてお聞きします。この中から 1つ 選び ○印 をつけてください。

1. 正社員・正規職員	6. 学生
2. 派遣・契約・期限付きの社員・職員	7. 専業主婦・主夫
3. パート・アルバイト・非常勤	8. 無職
4. 自営業・家族従業	9. その他 ()
5. 内職・在宅勤務	

【問 9】 問 8 で「1～5」と答えた方にお聞きします。あなたの 1 週間の労働時間（残業時間を含む）及び通常働いている日に帰宅する時間（又は仕事を終了する時間）について、数字 で記入してください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて記入してください。

1 週間の労働時間：約	時間、	帰宅（終業）時間：午前・午後	時頃
-------------	-----	----------------	----

【問 10】 あなたは、現在の低い出生率が続くことについて、危機感を感じていますか。それとも感じていませんか。この中から あてはまる番号 を 1つ 選び ○印 をつけてください。

1. 大変危機感を感じている	4. あまり危機感を感じていない
2. 多少危機感を感じている	5. 全く危機感を感じていない
3. どちらともいえない	6. わからない

【問 11】 出生率が低下し、子どもが少なくなっています。あなたが、少子化が社会に与える影響で特に課題だと思うことは何ですか。この中から あてはまる番号 すべて に ○印 をつけてください。

1. 過疎化の一層の進行など、社会の活力に与える影響
2. 労働力人口の減少など、経済活力に与える影響
3. 年金や医療費の負担など、社会保障に与える影響
4. 学校の減少など、教育環境に与える影響
5. 切磋琢磨し合う同年代の子どもの減少など、子どもの健全な成長に与える影響
6. その他 ()
7. 少子化問題については関心がない
8. 特になし
9. わからない

【問 15】 子どもについてお尋ねします。あてはまる数字を記入してください。

①	実際に持つかどうかは別にして、あなたにとって理想の子どもの人数は何人ですか	_____ 人
②	現在、何人の子どもをお持ちですか (成人した子どもを含む)	_____ 人 子どものいない方は、「0」とご記入ください。
③	うち同居している人数は (成人した子どもを含む)	_____ 人 子どものいない方は、「0」とご記入ください。
④	これから何人子どもを持ちたいですか	_____ 人 子どもを持つつもりのない方は「0」とご記入ください。

【問 16】 子どもを持つつもりのない方や、問 15 で理想の子どもの人数①より持ちたい子どもの人数 (②+④) が少ない方にお聞きします。

子どもを持つつもりのない理由や理想の人数より少ない理由は何ですか。この中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 子育てや教育にお金がかかるから 2. 保育サービスが整っていないから 3. 雇用が安定していないから 4. 働きながら子育てができる職場環境がないから 5. 自分の仕事 (勤めや家業) に差し支えるから 6. 家が狭いから 7. 子どもがのびのび育つ社会環境でないから 8. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから 9. 高年齢での出産に不安があるから 10. 育児の身体的・精神的負担が大きいから 11. 妊娠・出産のときの身体的・精神的な苦痛が嫌だから 12. 健康上の理由から 13. 欲しいけれども今のところまだ子どもを授からないから 14. 配偶者の家事・育児への協力が得られないから 15. 配偶者が望まないから 16. その他 (_____) 17. 特にない 18. わからない |
|---|

【問 17】 あなたは、これまでに結婚や出産を機に仕事を辞めたことがありますか。
あてはまる番号を1つ選び○印をつけてください。

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 仕事を辞めたことがある | 3. 働いたことがない |
| 2. 仕事を辞めたことはない | |

【問 18】 問 17 で「1」と答えた方にお聞きします。辞めた理由にあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------------------------------|
| 1. 結婚したため | 4. 職場から辞めてほしいという態度を示されたり、嫌がらせをされたため |
| 2. 出産のため | 5. その他 () |
| 3. 育児のため | |

【問 19】 問 17 で「1」と答えた方にお聞きします。あなたは、仕事を辞めて、現在、再び働きたいと思いませんか。この中からあてはまる番号を1つ選び○印をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 既に働いている | 4. 働きたくない |
| 2. すぐにでも働きたい | 5. わからない |
| 3. いずれ働きたい | |

【問 20】 あなたは、女性が子育てをしながら働く上で問題となっていることは何だと思いませんか。この中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| 1. 子育てに十分な時間をかけることができない | |
| 2. 子育てを重視しながら働くことに上司や同僚の理解・協力が得られない | |
| 3. 仕事と家事の両立が体力・時間的に難しい | |
| 4. 通勤時間が長い | |
| 5. 昇進や昇給に不利である | |
| 6. 休みがとりにくい、残業が多い | |
| 7. 転勤がある | |
| 8. 子どもの病気など急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない | |
| 9. 預かってくれる保育所や認定こども園がない | |
| 10. 預かってくれる学童保育がない | |
| 11. 保育所・学童保育以外の預かってくれる施設がない | |
| 12. 子どもが病気の時や急な残業に対応してくれる保育サービスがない | |
| 13. 保育サービスにお金がかかる | |
| 14. 配偶者の理解・協力が得られない | |
| 15. 家族(配偶者以外)の理解・協力が得られない | |
| 16. その他 () | |
| 17. 特に問題はない | 18. わからない |

2 ここからは、子ども（成人した子どもを含む）をお持ちの方にお聞きします。
 子どもがいない方のうち、結婚したことがない方は問 30（P 9）へ、それ以外
 の方は問 33（P 10）へお進みください。

【問 21】 あなたの子どもについてお聞きします。それぞれの子どもについて、性別
 及び年号の番号に○印をつけ、出生年月を記入してください。5人以上の方
 は第4子までの子どもについてご記入ください。

第1子	性別	1. 昭和	年 月 出生	第3子	性別	1. 昭和	年 月 出生
	男	2. 平成			2. 平成	男	
	女	3. 西暦			女	3. 西暦	
第2子	性別	1. 昭和	年 月 出生	第4子	性別	1. 昭和	年 月 出生
	男	2. 平成			2. 平成	男	
	女	3. 西暦			女	3. 西暦	

【問 22】 あなたは、子どもを預けることのできる親族等が、市内に住んでいます
 か。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 同居している父母	6. それ以外の親族
2. 自分の父母	7. 友人・知人
3. 配偶者の父母	8. 市内に親族等はいない
4. 自分の兄弟姉妹	9. 預ける必要はない
5. 配偶者の兄弟姉妹	

【問 23】 一人目の子どもが生まれてから、あなたや配偶者の働き方や日ごろの自
 分の時間の過ごし方が変わりましたか。あてはまる番号すべてに○印をつ
 けてください。（配偶者のいない方は、あなたご自身についてお答えくだ
 さい。）

<働き方>

	あなた	配偶者
1. これまでと変わらない	1	2
2. 労働時間を増やした	1	2
3. 労働時間を減らした	1	2
4. 勤務時間（フレックスタイム含む）、勤務日を変えた	1	2
5. 勤務地を変えた	1	2
6. 正社員からパート・アルバイトに変えた	1	2
7. 転職した	1	2
8. 仕事を辞めた	1	2
9. 元々仕事はしていなかった	1	2

<日ごろの自分の時間の過ごし方>

	あなた	配偶者
1. これまでと変わらない	1	2
2. 友人との付き合い、趣味の活動時間を減らした	1	2
3. 子どもに関係した友人との付き合い、新しい趣味 (ボランティア、PTA 含む) の活動を始めた	1	2
4. 子どもを含めて家族で楽しめることを始めた	1	2
5. 子ども中心の生活とし、自分の時間はもたないようになった	1	2
6. 家事をする時間が増えた	1	2

【問 24】 あなたやあなたの配偶者が子どもと過ごす時間(平日と休日)について、あてはまる番号を1つ選び○印をつけてください。(配偶者のいない方は、あなたご自身についてのみお答えください)

	子どもと過ごす時間			
	平 日		休 日	
あなた	1. 0～3 時間	4. 9～12 時間	1. 0～3 時間	4. 9～12 時間
	2. 3～6 時間	5. 12～24 時間	2. 3～6 時間	5. 12～24 時間
	3. 6～9 時間		3. 6～9 時間	
配偶者	1. 0～3 時間	4. 9～12 時間	1. 0～3 時間	4. 9～12 時間
	2. 3～6 時間	5. 12～24 時間	2. 3～6 時間	5. 12～24 時間
	3. 6～9 時間		3. 6～9 時間	

【問 25】 あなたは、子育てに喜びを感じますか。あてはまる番号を1つ選び○印をつけてください。

1. 喜びを感じる時の方がかなり多い	4. 喜びを感じる時の方がかなり少ない
2. 喜びを感じる時の方がやや多い	5. わからない
3. 喜びを感じる時の方がやや少ない	

【問 26】 あなたは、自分にとって子育てをして良かったと思うことは何ですか。この中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 家庭が明るくなった	8. 子どもを持つ喜びを実感できた
2. 家族の会話が増えた	9. 子育てにより自分が成長できた
3. 夫婦の愛情がより深まった	10. 自分の親への感謝の気持ちが生まれた
4. 生活にはりあいができた	11. 子どもが成長する姿を見ることができた
5. 子育てを通じて友人が増えた	12. その他 ()
6. 子育ての経験が仕事等に役立つ	13. 良いと思うことは特にない
7. 子どもから教えられることがあった	14. わからない

【問 27】 あなたは、自分にとって子育てをして負担に思ったことは何ですか。この中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 子育てによる身体の疲れが大きい | 8. 困ったときや不安なときに相談できる人がいない |
| 2. 子育てによる精神的疲れが大きい | 9. 子育てが十分にできない |
| 3. 子育てに出費がかさむ | 10. 子どもが病気の時 |
| 4. 自分の自由な時間が持てない | 11. その他 () |
| 5. 夫婦で楽しむ時間がない | 12. 負担に思ったことは特にな |
| 6. 仕事が十分にできない | 13. わからない |
| 7. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない | |

【問 28】 あなたは、次の労働関連制度等を利用したことがありますか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------------------|
| 1. 育児休業制度 | 8. 子の看護休暇 |
| 2. 短時間勤務制度（フレックスタイム制度） | 9. その他育児に関連した制度 () |
| 3. 時間外勤務や休日勤務の免除 | 10. 制度を利用できる時期に働いていたが、利用したことはない |
| 4. 在宅勤務 | 11. 会社にこのような制度はなかった |
| 5. 育児に関する費用の補助 | 12. 制度を利用できる時期に働いていないため、利用したことはない |
| 6. 勤務地の限定または指定 | |
| 7. 再雇用制度 | |

【問 29】 問 28 で「1」と答えなかった方(育児休業を取得しなかった方)にお聞きします。育児休業を取得しなかったのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 職場に育児休業制度がなかった |
| 2. 自分の仕事が忙しく、同僚に迷惑がかかる |
| 3. 取得しにくいまたは取得させない雰囲気職場内にあった |
| 4. 育児休業の対象者ではなかった |
| 5. 取得すると収入が減る |
| 6. 制度を知らなかった |
| 7. 勤務評価に影響する |
| 8. 配偶者が取得したため、取得する必要がなかった |
| 9. 配偶者が子育てに協力してくれるため、取得する必要がなかった |
| 10. 子どもを預かってくれる人(場所)があったため、取得する必要がなかった |
| 11. 取得したいと思わなかった |
| 12. その他 () |

3 ここからは、結婚をしたことがない方にお聞きします。すでに結婚が決まっている方、結婚経験のある方は、問 33（P 10）へお進みください。

【問 30】 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のどれですか。あてはまる番号を1つ選び○印をつけてください。

1. ある程度の年齢までには結婚するつもり
2. 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない
3. 一生結婚するつもりはない

【問 31】 あなたは、結婚の利点をどのようにお考えですか。この中からあてはまる番号を2つ以内で選び○印をつけてください。

1. 経済的に余裕がもてる
2. 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる
3. 精神的な安らぎの場が得られる
4. 愛情を感じている人と暮らせる
5. 自分の子どもや家族をもてる
6. 性的な充足が得られる
7. 生活上便利になる
8. 親から独立できる
9. 親を安心させたり周囲の期待に応えられる
10. その他 ()
11. 結婚の利点はないと思う

【問 32】 現在、あなたが独身でいる理由を次の中から選ぶとすればどれですか。ご自分に最もあてはまると思われる番号を3つ以内で選び○印をつけてください。

1. 結婚するにはまだ若すぎる
2. 結婚する必要性を感じない
3. 今は、仕事(または学業)に打ち込みたい
4. 今は、趣味や娯楽を楽しみたい
5. 仕事が忙しくて出会うチャンスが少ない
6. 独身の自由や気楽さを失いたくない
7. 結婚したい相手にまだめぐり会わない
8. 異性とうまくつきあえない
9. 経済的な余裕がない
10. 結婚生活のための住宅のめどが立たない
11. 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)
12. その他 ()

4 ここからは、全員の方にお聞きします。

【問 33】 あなたのご家族全員の昨年 1 年間の収入の合計は、いくらですか。ボーナス等も含めた額で、あてはまる番号を 1 つ選び○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 300 万円未満 | 3. 600 万円以上 1,000 万円未満 |
| 2. 300 万円以上 600 万円未満 | 4. 1,000 万円以上 |

【問 34】 あなたにとって、仕事と生活のバランスはうまく取れていると思いますか。あてはまる番号を 1 つ選び○印をつけてください。（※専業主婦など、仕事についていない方は家事とプライベートについてお答えください。）

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない |
| 2. ややそう思う | 4. まったくそう思わない |

【問 35】 あなたの職場は、子育てをする人（男女問わず）にとって働きやすいと思いますか。あてはまる番号を 1 つ選び○印をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. そう思う | 4. まったくそう思わない |
| 2. ややそう思う | 5. わからない |
| 3. あまりそう思わない | |

【問 36】 問 35 で「3」または「4」と答えた方にお聞きします。働きやすいのは、何が原因だと思いませんか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 子育てを重視しながら働くことに、上司や同僚の理解・協力が得られない |
| 2. 日常的に労働時間が長い |
| 3. 通勤時間が長い |
| 4. 始業・就業時間が固定的である |
| 5. 営業時間の制約（顧客対応や長時間開店など）がある |
| 6. 一人ひとりの業務量が多い |
| 7. 有給休暇をとりづらい雰囲気がある |
| 8. 育児に関する休暇・休業をとりづらい雰囲気がある |
| 9. 育児支援制度の利用が、昇進や昇給に不利である |
| 10. 転勤がある |
| 11. 職場で継続就業してキャリア形成している例が少ない |
| 12. 子どもの病気などで急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない |
| 13. 復職にあたっての異動・配置の本人希望が通りにくい |
| 14. その他（) |

【問 37】 あなたは、「結婚を希望する人」の結婚を支援する施策として何が重要だと思いますか。この中から3つ以内で選び番号に○印をつけてください。

1. 安定した雇用環境を提供する
2. 結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行う
3. 出会いの場を提供する
4. 結婚したほうが有利となるような税制を行う
5. 夫婦がともに働きつづけられるような職場環境の充実
6. 若者の結婚を推奨するような啓発活動を行う
7. その他 ()
8. 特にない
9. わからない

【問 38】 あなたは、安心して妊娠・出産ができる環境を整備する施策として何が重要だと思いますか。この中から3つ以内で選び番号に○印をつけてください。

1. 産科医療体制を充実する
2. 不妊治療に対する助成を拡充する
3. 妊娠中の健康診断を無料化する
4. 産前6週間(多胎妊娠は14週間)・産後8週間の休業期間を拡大する
5. 出産育児一時金(42万円)を増額する
6. 母子保健サービスを充実する
7. 家事援助などを行うヘルパーの訪問サービスを充実する
8. その他 ()
9. 特にない
10. わからない

【問 39】 あなたは、子育てを支援する施策として何が重要だと思いますか。この中から3つ以内で選び番号に○印をつけてください。

1. 保育所の時間延長や保育ママなど、多様な保育サービスを充実する
2. 児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する
3. 育児休業をとりやすい職場環境を整備する
4. フレックスタイムの導入など、柔軟な働き方を推し進める
5. 時間外勤務を短縮する等、男性の育児参加を促進する
6. 育児休業中の所得保障を充実する
7. 出産・育児による退職後の再就職支援を充実する
8. 子ども医療費への支援を充実する
9. 教育費への支援を充実する
10. 子どもを連れて安心して利用できる施設等を整備する
11. 育児について相談する場、親同士交流できる場を提供する
12. その他 ()
13. 特にない
14. わからない

【問 40】 あなたは、子育てにおいて、地域社会における住民同士の助け合いとして、どのような活動があればいいと思いますか。この中から3つ以内で選ぶ番号に○印をつけてください。

1. 子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動
2. 子育て家庭の家事を支援する活動
3. 不意の外出の時などに子どもを預かる活動
4. 子どもと遊んでくれる活動
5. 子どもにスポーツや勉強を教えてくれる活動
6. 子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動
7. 子育てに関連した情報を簡単に入手しあえるような活動
8. その他 ()
9. 特にない
10. わからない

【問 41】 結婚、妊娠、出産、子育て支援に関しましてお気づきの点等がございましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ12月19日（金）までにポストに投函くださいますようお願いいたします。（切手は不要です。）

**職場における少子化に関する調査
調査票**

1 貴社の概要についてお聞きします。

問1 貴社の業種についてお答えください。もっともあてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 鉱業、採石業、砂利採取業 | 9. 不動産業、物品賃貸業 |
| 2. 建設業 | 10. 学術研究、専門・技術サービス業 |
| 3. 製造業 | 11. 宿泊業、飲食サービス業 |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 12. 生活関連サービス業、娯楽業 |
| 5. 情報通信業 | 13. 教育、学習支援業 |
| 6. 運輸業・郵便業 | 14. 医療、福祉 |
| 7. 卸売業、小売業 | 15. その他サービス業 |
| 8. 金融業、保険業 | 16. 農業、林業、漁業 |

問2 貴社の従業員数（パート、期間雇用者を含む）をお答えください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 10人未満 | 5. 50～99人 |
| 2. 10～19人 | 6. 100～199人 |
| 3. 20～29人 | 7. 200～299人 |
| 4. 30～49人 | 8. 300人以上 |

問3 貴社の従業員数（パート、期間雇用者を含む）のうち、女性従業員が占める割合をお答えください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 100% | 4. 25%以上～50%未満 |
| 2. 75%以上～100%未満 | 5. 0～25%未満 |
| 3. 50%以上～75%未満 | 6. 0%（女性従業員はいない） |

問4 昨年度の正社員1人あたりの年間総実労働時間（残業時間を含む）は平均何時間ぐらいですか

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 1,800時間未満 | 4. 2,000時間以上～2,100時間未満 |
| 2. 1,800時間以上～1,900時間未満 | 5. 2,100時間以上～2,200時間未満 |
| 3. 1,900時間以上～2,000時間未満 | 6. 2,200時間以上 |

問5 昨年度の有給休暇取得率（有給消化率）はどれぐらいですか。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 30%未満 | 3. 60%以上～90%未満 |
| 2. 30%以上～60%未満 | 4. 90%以上 |

問6 会社全体でみた場合、女性正社員の働き方として、次のどのパターンが多いと思われますか。

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------|
| 1. 結婚を契機に退職する | 5. 子が出産しても継続して就業している |
| 2. 妊娠・出産を契機に退職する | 6. 女性正社員が少ない（いない）ため
わからない |
| 3. 出産後、子の年齢が3～4歳となる
頃までに退職する | 7. そのような事例がない |
| 4. 子が3～4歳となってから小学校に
入学する頃までに退職する | |

2 貴社の育児休業制度についてお聞きします

問7 貴社において育児休業制度の規定はありますか。

1. ある 2. ない

問8 貴社において平成25年中に育児休業を取得した人はいますか。取得した人がいる場合は、男女別の人数をお書きください。

1. いる（男性 名、女性 名）
2. いない

問9 貴社では、育児休業制度を今後どのようにしたいとお考えですか。1つお選びください。

1. 現状どおりで良い 3. 現在の制度を縮小・廃止したい
2. 現在の制度を充実したい 4. 今はないので新たに導入したい

3 貴社の短時間勤務制度についてお聞きします。

問10 貴社には、育児のための短時間勤務制度（正社員の所定労働時間や所定労働日数を一定期間短縮する制度）がありますか。1つお選びください。なお、労働基準法の育児時間（1日2回30分ずつ）は除きます。

1. 制度（規定）としてある 3. ない
2. 運用として認めている

問11 問10で「1」又は「2」と回答した企業にお聞きします。貴社において平成25年中に短時間勤務制を利用した人はいますか。取得した人がいる場合は、男女別の人数をお書きください。

1. いる（男性 名、女性 名）
2. いない

問12 貴社では、短時間勤務制度を今後どのようにしたいとお考えですか。1つお選びください。

1. 現状どおりで良い 3. 現在の制度を縮小・廃止したい
2. 現在の制度を充実したい 4. 今はないので新たに導入したい

4 貴社の再雇用制度についてお聞きします。

問13 貴社には、妊娠、出産、育児、介護を理由として退職した社員を再雇用する（正社員以外での雇用も含む）制度がありますか。1つお選びください。（グループ企業による再雇用は除外してお考えください。）

- | | |
|----------------|-------|
| 1. 制度（規定）としてある | 3. ない |
| 2. 運用として認めている | |

問14 問13で「1」又は「2」と回答した企業にお聞きします。貴社が再雇用制度を導入したのはなぜですか。あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 労働力不足への対応 | 4. 育児休業等の代替要員確保 |
| 2. 在職経験による知識やスキルの活用 | 5. その他（ ） |
| 3. 従業員のニーズへの対応 | |

問15 問13で「1」又は「2」と回答した企業にお聞きします。貴社では再雇用制度の登録者のうち、何割程度を実際に再雇用していますか。貴社のここ3年程度の状況に近いものを1つお選びください。

- | | |
|----------------------------|-----------|
| 1. 登録はあるが、実際再雇用した人は
いない | 4. 3～4割程度 |
| 2. 1割に満たない | 5. 5割以上 |
| 3. 1～2割程度 | 6. 登録がない |

問16 貴社では、再雇用制度を今後どのようにしたいとお考えですか。1つお選びください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 現状どおりで良い | 3. 現在の制度を縮小・廃止したい |
| 2. 現在の制度を充実したい | 4. 今はないので新たに導入したい |

5 貴社におけるその他の制度等についてお聞きします。

問17 貴社では、「育児休業制度」「短時間勤務制度」「再雇用制度」のほか、次のような育児のために働き方を柔軟にできるような制度等を導入していますか。導入しているものをすべてお選びください。

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 深夜業の免除 | 5. 企業内託児施設 |
| 2. 時間外労働の制限 | 6. その他（ ） |
| 3. フレックスタイム制 | 7. 導入していない |
| 4. 始業・終業時間の繰上げ・繰下げ | |

問18 貴社では、上記制度の他に子育て支援としての手当や休暇制度、再雇用のための研修制度などを導入していますか。導入している場合は、該当項目へ○印をし、具体的な内容をお書きください。

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子ども・家族への手当
() | 4. その他
() |
| 2. 休暇制度
() | 5. 導入していない |
| 3. 研修制度
() | |

問19 貴社では、結婚支援としての手当やコミュニケーション力アップ等の研修、社内や他社との交流会などを実施していますか。実施している場合は、該当項目へ○印をし、具体的な内容をお書きください。

1. 手当 ()	4. その他 ()
2. 研修 ()	5. 実施していない
3. 交流会などの実施 ()	

6 男性の育児参加についてお聞きします。

問20 企業が男性の育児参加促進に取り組むことに関して、どのようにお考えですか。1つお選びください。

1. もっと積極的に取り組む必要がある	4. 男性の育児参加を進める必要はない
2. 今すぐ取り組む必要はないが、将来的には必要である	5. その他 ()
3. 男性の育児参加の必要性は理解するが、企業として取り組む必要はない	

問21 問20で、「1」又は「2」と回答した企業にお聞きします。男性の育児参加促進のための企業の取り組みとして、どのような取り組みが特に有益だと思えますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

1. 育児休業中に経済的支援を行う	6. 年次有給休暇の取得を促進する
2. 育児休業について、複数回の取得を認める	7. 男性の育児参加が可能となるような人員体制を整える
3. 育児休業について、夫婦同時に取得することを認める	8. 男性の育児参加の必要性について管理職の理解を深める
4. 短時間勤務・在宅勤務等柔軟な働き方を認める	9. 男性の育児参加について一般従業員の研修や情報提供を行う
5. 長時間労働を是正する	10. その他 ()

7 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお聞きします

【仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）とは】
 国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすこと、つまり働く方が意欲を持って働きながら豊かさを実感して暮らせるよう、多様な選択が可能な社会をつくることを言います。
 企業における具体的な取り組みとしては、多様な生き方に対応した職場環境を整備する、仕事と子育てや介護の両立支援をするなどといったことが考えられます。

問22 貴社では「仕事と生活の調和」（ワーク・ライフ・バランス）を進めるために、どのような事に取り組んでいますか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 経営戦略に盛り込んでいる
2. 管理職の意識改革（講演・研修などの実施）
3. 従業員の意識改革（個別面談・研修などの実施）
4. 従業員相互で業務を共有するなど、欠員に対応できる体制の整備
5. 独自の両立支援制度を設けている（法律の規定を上回る育児休業、短時間勤務等）
6. 社内の両立支援制度（育児休業、短時間勤務等）を積極的にPR
7. 両立支援制度の利用が不利益とならないようにルール化している
8. 早く帰宅することを励行（ノー残業デーなどの設置）
9. 年次有給休暇の取得促進
10. 仕事を効率化するための工夫の実施（業務改善に継続的に取り組む等）
11. 取り組んでいない
12. その他（ ）

問23 職場の結婚・子育て支援や「仕事と生活の調和」（ワーク・ライフ・バランス）への取り組みは、貴社にとってプラス効果になると思いますか。1つお選びください。

1. そう思う
2. まあそう思う
3. あまりそう思わない
4. 思わない

問24 問23で、「1」又は「2」と答えた企業にお聞きします。結婚・子育て支援や「仕事と生活の調和」（ワーク・ライフ・バランス）への取り組みが貴社にとってプラスの効果を与えると思う理由は何だとお考えですか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 優秀な人材が確保できるようになる
2. 中途退職する従業員が減少する
3. 先駆的な企業としてのイメージが形成できる
4. 従業員が効率的に仕事を行うようになる
5. 従業員の就労意欲が高まる
6. 従業員それぞれがライフスタイルや働き方に対する意識改革が図られる
7. チームや組織で助け合う雰囲気が醸成される
8. 男女にかかわらず能力を活用することで組織が活性化する
9. 組織・業務体制の見直しにより職場全体の業務効率が向上する
10. 生活者の視点、消費者の視点が本業に活かされる
11. 多様な価値観に対応した事業展開ができるようになる
12. その他（ ）

問25 問23で「3」又は「4」と答えた企業にお聞きします。結婚・子育て支援や「仕事と生活の調和」（ワーク・ライフ・バランス）への取り組みが貴社にとってプラスの効果を与えないと思う理由は何だとお考えですか。1つお選びください。

1. 人件費に係るコストが増加する
2. 従業員の就労モラルが低下する
3. 従業員間の不公平感が高まる
4. チーム・組織が混乱する
5. 人員配置体制が複雑になる
6. 本業がおろそかになる
7. その他（ ）

